

# 平成 27 年度庄内町議会町民と語る会報告書

平成 27 年 6 月 17 日  
全 員 協 議 会

## はじめに

庄内町議会は、町民に開かれた議会及び積極的な町民参加を推進することを目指し、平成21年度から「議会報告会」を開催しております。平成25年度からは、より町民主体の会になるよう「町民と語る会」に名称を改め、今年度については5月29日から6月2日にかけて各学区等において開催しました。

議員が町内の各学区等に出向いて、議会活動状況や課題の取り組み状況等について報告するとともに、町民から議会活動に対する意見、町政に対する提言等をお聴きし、町民の皆さんと有意義な意見交換ができたものと思っております。

町民と語る会で出された意見・要望等を今後の議会活動につなげ、議会運営の改善を図るため、次のとおり報告します。今後とも、町民と議会との交流の場を通し、町民に開かれた議会、町民に信頼・期待される議会を目指してまいります。

## 1 開催状況

開催日	開催時間	開催会場	参加人数	担当班
5月29日(金)	19:00~21:00	立谷沢公民館	7人	2班
		余目第一公民館	12人	3班
		余目第二公民館	12人	1班
6月1日(月)	19:00~21:00	清川公民館	22人	1班
		余目第三公民館	9人	2班
		余目第四公民館	27人	3班
6月2日(火)	19:00~21:00	狩川公民館	13人	3班
合 計			102人	

- 1班 小林 清悟 (班長)、澁谷 勇悦、吉宮 茂、押切のり子、齋藤 健一
- 2班 五十嵐啓一 (班長)、石川 武利、鎌田 準一、小野 一晴、村上 順一
- 3班 工藤 範子 (班長)、齋藤 秀紀、國分 浩実、石川 保、上野 幸美

## 2 議会に対する主な意見・要望等

**質問1** 町民と語る会の参加者を多くするため地域の皆さんに呼びかけしているが、参加者が集まる工夫が必要ではないか。(立谷沢公・2班)

**回答** 議会にとっても大きな課題である。多くの町民が参加できる手法を考えたい。

**質問2** 議会傍聴で答弁側の声が聞き取りにくいのは何故か。(二公・1班)

**回答** 新システムになり議会中継が聞き取りにくい時期があった。調整しているが、なお、担当課へ伝える。

**【町回答】** 問題の発生を受け、定例会開催の都度、支障がないようシステムの音声機器の点検を実施し調整をしており、現在問題のある事象は生じておりません。

**質問3** 議会のライブ配信を見る人より、録画映像配信を見る人が多いと思うが、配信まで時間が多く掛かっている。短縮できないか。(立谷沢公・2班)

**回答** 配信システムが新しくなったことにより、配信作業を外部に委託することになった。結果、契約上の問題で時間が前より掛かるようになった。現在調整中である。なお、スマートフォンでも閲覧可能になっている。

**質問4** 3月議会中にネット中継の不具合があったと聞いたが、現在は改善されたのか。(狩公・3班)

**回答** 録画映像配信のタイミングも含め、業者に改善要求していく。中継に関しては、パソコンの対応 OS の情報、メディアプレーヤー等のダウンロードの方法についても情報提供できるよう改善していきたい。

**質問5** 保育園民営化、共同調理場、環境課廃止の記事が載っている。議会広報紙の内容は見やすく、分かりやすいが、行政のやり方(町長方針)を宣伝しているだけのようにも見える。議論の内容をもっと詳しく掲載できないのか。起債のデメリットも町民は知りたいと思う。(一公・3班)

**回答** 議会として議論を尽くし、決定している。これまでもお伝えした経緯もある。議論内容の掲載は紙面の都合、広報常任委員長の編集方針などもあり、現在の形式になっているが、貴重な意見として参考にしたい。起債については、町民の安心感を考慮してメリット重視で掲載した。

**質問6** 茗荷瀬は高規格道路の整備後、通学路の変更をしている。安全を考えバス通学を要望しているが、取り上げてもらえる方法はないか。(二公・1班)

**回答** 要望している集落だけでなく PTA をはじめ学区で協力して、教育委員会に学区全体で要望してはどうか。

**質問7** 環境課が廃止されたが、立谷沢地区としては簡易水道から上水道へ転換を進めている中で、なぜ廃止したのか。議会は、反対1で可決しているが十分議論されたのか。(立谷沢公・2班)

**回答** 単に環境課だけの廃止を議論したのではなく、行政がより効率的に機能するた

めに、各課横断的に業務内容を見直した。業務を他の課と統合させるのが適切と判断し、賛成多数で可決された。

**質問8** 将来の人口減少への発表は、根拠のあることと思う。負担軽減としながら有利な起債を活用しているが、将来を担う子供たちに負担を残さないために、議会は、場当たり主義でなく将来を見据えた決議をしてほしい。(四公・3班)

**回答** まずは、人口減少対策を考えていかなければならない。今年度は、総合計画・地方版総合戦略の整合性を図りながら計画策定をしていく。皆さんからも知恵を出していただきたい。

**質問9** 新産業創造館クラッセの「やくけっちゃん」は儲かっているのか。町が多額の投資をして始めた事業であるので、議会から声を出して聞いてほしい。(四公・3班)

**回答** 経営は厳しいようであるが、多くの人が利用している。(株)イグゼあまるめに健全経営を図るよう伝えたい。食事に行くなど多くの町民が利用してほしい。

**【町回答】** 経営主体である(株)イグゼあまるめは、特産品販売、プールや温泉運営等の事業全体の中で健全運営を目指しています。また、レストランメニューの検討やイベント展開など工夫を凝らした営業にも努めています。

### 3 町長部局に対する主な意見・要望等

#### 財政・予算

**質問1** 本町の標準財政規模が70億円前後とすれば、ここ近年の予算規模は100億円を大きく超えている。なぜこのような額になるのか。心配はないのか。(三公・2班)

**回答** 合併の特例で本来より多く地方交付税を受けている。また、合併前の両町が長年描いてきた計画を、合併特例債や過疎債を使いこの10年で実現させてきたからである。なお、特例期間が今年度で終了するため、歳出3億円縮減プロジェクトを策定し、歳出を切り詰めて対応すべく準備をしている。

**質問2** ふるさと納税が全国で過熱気味だが本来の目的から逸脱していないか。(三公・2班)

**回答** ふるさと納税が地方行政の財政や、経済効果を上げるのに役割を果たしている。町も有効に活用している。

**質問3** 教育にかかる部分にもっと予算を割り振るべきと考えるがどうか。(狩公・3班)

**回答** 財政シミュレーションを確認し、近隣市町とも比較しながら予算確保に努めた。

**質問4** 集落公民館の修繕工事に利用できる補助金はないのか。(二公・1班)

**回答** 「集落施設整備事業補助金」のメニューの中に公民館の修繕の項目がある。利用するための要件が付いているので、担当課に確認してほしい。

**質問5** 設置後30年経過した遊具が劣化しているが、小さい集落のため撤去する財源がない。利用できる補助金はないか。(二公・1班)

**回答** 「住みやすい地域づくり活動交付金」は撤去作業に利用できないが、安全性を考え早めの対応が必要になる。対応策はないか担当課に確認したい。

**【町回答】** 住みやすい地域づくり活動交付金の「部落遊園地整備事業」は、新設、交換、修繕等の整備が対象であり、維持管理及び撤去のみに係る経費は対象となっております。

**質問6** 今まで80年間継続してきた清河八郎顕彰剣道大会が、今年度安全性を配慮し中止された。清川体育館の改修工事の状況と予算の計上はどうなっているのか。体育館のトイレは残すのか。(清公・1班)

**回答** 下水道の入れ替え工事で120万円を計上している。校舎の解体時に昇降口を改修する予定である。トイレは避難場所として活用するためにも残す必要がある。

**質問7** 近江新田バイパス道路はどうなっているのか、集落到説明したいので経過状況を聞きたい。(二公・1班)

**回答** 昨年は85万円で概略設計を行っている。今年度は詳細設計を行う予定で570

万円の予算を計上してある。多額の事業費になるので国の「社会資本整備総合交付金」の対象事業となるよう要望出しの作業中である。

**質問 8** 清川公民館の耐震化はどうなっているのか。(清公・1班)

**回答** 清川公民館の耐震補強の実施設計料 470 万円が予算計上されている。

**質問 9** 清河八郎記念館に 77 万円の補助金を頂いているが、1 人分だけの人件費で赤字になる。特別枠も 20 万円を加算して頂いたが、運営に苦慮している。更なる補助金の増額を要望したい。(清公・1班)

**回答** 入館者や顕彰会員を増やすなどの工夫をする事も重要な課題である。また、町に現場からの声を直接伝えることも必要ではないか。なお、町に伝えたい。

**町回答** 清河八郎記念館は、昭和 37 年の開館以来、入館料等の収入により管理運営がなされてきましたが、経済状況等の変化により平成 11 年度から町が運営補助を行っており、その額についても平成 17 年度以降は 77 万円、平成 25 年度からは 78 万円となっています。このほか、特別展の展示替に係る経費について要望を受け、平成 21 年度以降 200 千円（没後 150 周年となる平成 25 年度は 320 千円）を加算し交付しております。

補助金の増額につきましては、その内容に応じ検討することになりますが、町においても普通交付税の合併算定替えの特例効果が平成 28 年度以降漸減する厳しい時期を迎えることから、現在のところ難しいものと考えられます。

## 新庁舎

**質問 10** 合併特例債を活用し役場庁舎の建設を考えているようだが、人口減少と町の財政を考え施設の再利用は考えていないのか。(二公・1班)

**回答** 役場庁舎は合併して 10 年は建設をしないとして今まで来た。本庁舎は建設して 50 年以上経過しており、耐震補強では対応できない。新設に向けて整備検討会を設置し検討をしている。

**質問 11** 合併特例債はどんな事業にも使えるのか。新庁舎建設はどうか。(三公・2班)

**回答** 起債を活用するには「新まちづくり計画」に記載されていることが条件になる。町では新庁舎の建設は、平成 32 年度まで完成させたいと考えているようだ。

**質問 12** 町債が年々増加しているように思うが、大規模な事業を行ったばかりで新庁舎建設は大丈夫なのか。(一公・3班)

**回答** 合併特例債を活用するが、町債の増加は最小限に留めるよう、議会としてもチェックしていきたい。

**質問 13** 新庁舎・図書館建設などを含む財政はどうか。(四公・3班)

**回答** 新庁舎は、合併特例債が使える平成 32 年度まで完成できるよう庁内にプロジェクトチームを立ち上げ検討している。概要は近く報告されると思う。財政に関

する重要なことであり、パブリックコメントも含め、町民の意見を出してほしい。

図書館は、これまで総合計画にもあり検討委員会に諮問した経緯がある。常任委員会で調査提言した経緯もあり、今後、総合計画の内容も含め議会として検討したい。

**質問 14** 町の人件費が町税収入より多くなっている。今後の新庁舎建設など大型事業も控える中、財政が逼迫するのではないか。(狩公・3班)

**回答** 町としても職員数の削減などに取り組み努力している。行政サービスも多岐にわたっているので、現状を注視していきたい。

**質問 15** 本庁舎の耐震工事はしているのか。また庁舎、防災倉庫での備蓄品の管理は適正に行われているのか。(狩公・3班)

**回答** 本庁舎は改築の方向で検討している。備蓄倉庫の中身に関しての最新情報は把握していない。保管のあり方、期限切れで更新しなければいけない物などもあるのかを含め、情報提示するよう求めている。

**質問 16** 役場新庁舎のプロジェクトについて最新情報があれば提示してもらいたい。機能が分散しているのでワンストップ体制を採用してほしい。(一公・3班)

**回答** 庁内にプロジェクトチームを立ち上げ検討している。合併特例債を活用するので、平成 32 年度までに完成の予定である。機能も含め、概要については近く公表されると思う。

## 観光

**質問 17** 人口増加や観光拡大を図るため、新幹線の延伸を真剣に運動すべきではないか。(二公・1班)

**回答** 庄内地域全体の課題であり、一体となり要望をしている。庄内町は羽越・山形新幹線の庄内延伸両方の運動に参加している。

**質問 18** 清川小学校は解体することが決定したと聞いている。清川歴史公園構想の推進状況はどうか。(清公・1班)

**回答** 清川小学校は、解体工事費 1,540 万円の予算が今年度計上されている。清川歴史公園構想は総合計画に沿って進むと思われる。行在所解体保存工事の入札が行われ工事業者が決まった。行在所は、旧立谷沢小学校体育館内に仮保存する予定である。

**質問 19** 町湯は段差があり転ぶ危険性もあるなど、設計ミスではないのか。早めの改善を要望したい。また、北月山荘への影響はどうか。(清公・1班)

**回答** 町湯は段差があり危険であると議会でも町に伝えてある。脱衣所の改善は行われたが、もう少し様子を見てほしい。北月山荘と町湯は特色が違うので影響は少ないと感じている。

**質問 20** 観光情報として、クラッセのレストランでの食事情報を観光ルートに載せて

いない。新庄酒田間の観光時の食事処として展開したらどうか。(四公・3班)

回 答 担当課に伝えたい。

【町回答】 昨年度リニューアルしました町観光ガイドブックでは、お土産や食の拠点として観光ルートに組み込んでいます。また、今後は観光全体を地方創生の中で検討を加えていきます。

**質問 21** 町湯について、近隣の施設と比べ後発ではあるのに内容が劣っているのではないか。ロビーの広さなどは無駄な感じがある。(狩公・3班)

回 答 様々な意見が町民から寄せられている。改善すべき点は早急に対応しており、また、1年経過していないところでもあるので経過を見ていただきたい。

**質問 22** 風車市場を道の駅とするプランがあるが、現状の建物では他と比較した場合にレベルが違いすぎると思うが。(狩公・3班)

回 答 設計の概要は決まりつつあるが、まだ公表はされていない。国からの認可を受けるために準備を進めている段階である。

## 福祉

**質問 23** 高齢者のつどいがなぜ取り止めとなったのか。困惑している。上から目線で中止のような気がするが。(一公・3班)

回 答 各区長の労苦、参加者減、10年経っての内容のマンネリ化等が要因となり取り止めの方向となったようだ。

**質問 24** 2025年問題(団塊の世代が75歳)に向けて、国保・介護保険の今後について聞きたい。(四公・3班)

回 答 少子高齢化や人口減少は深刻な問題である。国保・介護保険は、国の動向を見ながら、これまでのルールはあるが、現実的に一般会計からの繰り入れも含め検討していかなければならないと考える。

**質問 25** 高齢者福祉温泉等入浴料金・理美容料金割引券は、今年度から無料券でなくなった。町湯のリピーターになるまで無料にすべきであり、自己負担有は結果的に温泉に行かなくなっている。回数が減っても利用してもらうことを考えるべきである。また、交通手段がない人への手立てを検討してほしい。

理美容料金割引券は、一枚の割引金額が安く、金額単価が高い理美容ではその恩恵が薄い。利用者が助かる内容にしてほしい。(四公・3班)

回 答 担当課に伝えたい。

【町回答】 昨年度までは無料券(町湯450円相当・理美容350円引き)5枚を配布していたが、事業本来の目的であります高齢者の健康保持及び社会参加の助長を図るため、今年度からは、割引券(町湯250円相当・理美容200円引き)10枚を配布しております。5月までの2ヵ月間の利用者は、前年度を上回るご利用をいただいております。また、循環バス等を運行し町湯への交通手段を確保しており

ます。

**質問 26** 温泉入浴券（割引券）を以前のように枚数を減らしても無料にしてもらいたい。その方が町湯のリピーターも増えるのではないか。（狩公・3班）

**回答** 利用していただかないと意味が無いので貴重な意見として伝える。立川地域から町湯までバスの使い勝手が悪いということも合わせて伝えたい。

【町回答】 事業本来の目的は、高齢者の健康保持及び社会参加の助長にあることから、これまで5枚だった割引券を10枚に変更しております。5月までの2ヵ月間の利用者は、前年度を上回るご利用をいただいております。また、町湯の利用促進につながる町営バスの運行を検討します。

**質問 27** 健康寿命の延伸に繋がるパークゴルフが、今年度より二俣農村公園内で始まる。備品購入費は予算化になったが、普及のためには道具が必要であり、今後も支援をお願いしたい。（四公・3班）

**回答** 今年度用具を予算化してスタートする。これからと捉えている。

#### 庄総高

**質問 28** 庄内総合高校への支援は、どう取り組んでいるのか。特色ある学校にしないと生徒も集まらないのではないか。学校が無くなることは、地域にとって大変なことである。町もしっかり支援してほしい。（四公・3班）

**回答** 県に支援同盟会とともに陳情に行っている。入学志望者の減少は深刻である。町も地方創生事業として、庄内総合高等学校生徒への支援事業助成（新入学時の経費助成・通学費助成）として商品券を支給している。特色ある学校としてどのようなカリキュラムにするべきか、課題が大きい。

**質問 29** 庄内総合高校への支援が実施されたが、地元から進学する生徒が少ない。庄内総合高校ならではの魅力の発信などは考えていないのか。（狩公・3班）

**回答** 町長の本気度を示したのが今回の支援策だと思う。議会としても一般質問で取り上げている経緯もあるので今後もアイデアをもって提言していきたい。

#### 選挙

**質問 30** 衆議院、県議会議員、町議会議員の選挙の立会人等の経費は、どこから支払われるのか。（二公・1班）

**回答** 衆議院選挙は国、県議会議員選挙は県、町議会議員選挙は町、それぞれで負担し一般会計の選挙費から支払われる。

**質問 31** 期日前投票を実施しているが、投票率は伸びていない。費用や時間なども含め改革はしないのか。（二公・1班）

**回答** 議会でも取り上げた経過がある。選挙管理委員会から変更はしないと答弁を受けている。



## 空き家

**質問 32** 空き家対策について、住民の苦情に対して現行条例では解決されず困っている。常任委員会の提言にあるが適切な対応を取ってほしい。(四公・3班)

**回答** 空き家に対する国の動向もあり、条例改正も含め適切な対応を取るよう伝えたい。

**【町回答】** 国においても空き家対策に関する法律が新たに施行されています。所有者等への対応については、町も他に先がけて適正管理に関する条例を制定し対応しています。

**質問 33** 空き家対策が全国的に問題となっている。国も法整備を含め対策を進めているが、本町も歩調を合わせ、空き家対策を実施できないのか。(立谷沢公・2班)

**回答** 近隣に迷惑を与える空き家の認定は、自治会や近隣の報告により認定している。議会でも危険な空き家実態を調査して、その対策を町に提言している。

## 消防分署

**質問 34** 新築される消防署立川分署の規模は余目分署と同程度なのか。また、ヘリポートは設置されるのか。(立谷沢公・2班)

**回答** 規模は同じだが、土地代の違いから予算額は余目分署の方が大きい。ヘリポートは余目分署と同様に設置される。

**質問 35** 消防分署の建設における予算の裏付けは、どうなっているか。(立谷沢公・2班)

**回答** 合併特例債を活用している。

**質問 36** 新消防分署を建てた理由を聞きたい。(狩公・3班)

**回答** 老朽化のため、大地震などの災害時に防災機能が十分発揮されない可能性があることと、旧分署では職員の訓練に支障が出てきたことや、立川分署については、山間部への迅速な対応を考慮したためである。

## 環境

**質問 37** 旧清川小学校プールの水抜きがまだ改善していない。根本的な改善をしてほしい。(清公・1班)

**回答** 穴を掘り水抜き工事を実施したが、水が抜けず改善しなかったと聞いている。なお、担当課に伝える。

**【町回答】** プール底版に穴を開け、地盤に浸透するよう対策を行いましたが、枯葉等が堆積し目詰まりしている状況です。なお、蚊が発生しないように適宜水を抜き管理します。

**質問 38** 小出新田地内の旧ゴミ捨て場の畑を作付しなくなり、その後町が管理している。カメ虫防除のため草刈を要望している。議会からも働きかけてほしい。(二

公・1班)

回 答 町は毎年管理しており、これから対応すると思われる。なお、担当課へ伝える。

【町回答】 本年度は、すでに草刈を実施しています。なお、本年度からは年二回実施することとしています。

**質問 39** アメシロなど集落で実施している環境整備時の消毒器具機材の貸し出しの時間が、金曜日の午後5時までとなっている。仕事を持つ集落担当者は難しい時間である。もっと融通を利かせてほしい。(四公・3班)

回 答 担当課に伝えたい。

【町回答】 アメシロ防除機は、安全に使用していただけるよう説明した上で貸し出しをする必要があります。貸し出し日時については、事情は理解できますが、これまで通り勤務時間内での対応とさせていただきます。なお、どうしても都合がつかないというのであれば、相談いただければ可能な範囲で対応したいと考えます。

## 道路

**質問 40** 町道・通学路等の草刈りは、年2回業者委託で実施しているが、時期が遅すぎる。また、年2回では少ないので改善してほしい。(四公・3班)

回 答 官地・道路の草刈りについては、実施時期が遅いことと回数も含め担当課に伝えたい。

【町回答】 予算の関係で現行の中で工夫出来る事を考えます。

**質問 41** 市街地の住民は都市計画税を納めている。都市計画区域内の公園、道路の受益者負担と考えているので、子どもたちの安全に配慮した整備を行ってもらいたい。(一公・3班)

回 答 安全で安心な町づくりに繋がることなので、要望があった「三人谷地公園」については、既存の遊具、除草等の環境整備を要望していく。

**質問 42** 立川中付近(馬場)の町道拡幅を集落要望として出しているが、優先順位が3位となっているため、この先の目処が立たない。(狩公・3班)

回 答 優先順位については改めて地域で話し合ってもらい、合意形成が出来れば順位を変更していただくなどの対応をとれば、町の動きも変わってくると思う。

## 危機管理

**質問 43** 防災無線は、住宅内では聞き取りにくい、宅内無線も含めどう考えているのか。(四公・3班)

回 答 住宅が高気密化しているため宅内では聞き取りにくいという声がある。現在は、調整して多少改善されたようだが、防災の情報がより確実に伝わる方法を検討するよう伝えたい。

【町回答】 防災行政無線は、基本的に屋外で聞いていただく設備であることを、ご理

解いただきたいと思います。屋内で放送に気づいた際には、窓を開けたり屋外に出ていただいたりして聞いていただくようお願いします。

また、放送した内容は、放送から 24 時間以内はテレホンサービスでお聞きいただき、確認することが可能です。

なお、戸別受信機については、平成 28 年度及び 29 年度に実施する立川地域のデジタル化に併せ、土砂災害警戒区域に入っている集落への設置を計画しています。

**質問 44** 災害情報メールは、機種によっても違うが情報を受信するまで 10 分位かかる。時間短縮してほしい。(四公・3 班)

**回答** 担当課に確認しながら、酒田地区広域行政組合に伝えたい。

【町回答】 酒田地区広域行政組合の災害情報メールは、登録者だけに配信されるもので、現在、消防署員約 220 名並びに消防団員（庄内町は副分団長以上の幹部団員）及びメール配信を希望する組合議員約 400 名、併せて約 620 名にメール配信されています。メール配信は、酒田地区広域行政組合が契約するプロバイダのサーバから 1 回につき 50 名に順次行われるメール配信システムとなっています。酒田地区広域行政組合には、システムの更なる向上を伝えます。

#### その他

**質問 45** 町内で婚活イベントを開催しているが、結婚できない人が多くいる。仲人制を設けるなどして、婚活を積極的に進めてほしい。(清公・1 班)

**回答** 本町でも力を入れて取り組んでいるが、婚活に参加できずにいる人が多くいる。仲人（サポーター）の登録制度を設けて経験のある住民の方を募るなどして取り組まなければ成果が上がらないのではないかと。町民参加が望まれる。

**質問 46** 「環境保全型農業直接支払交付金」により堆肥を 10a 当たり 0.5 t から 1t を散布すると 4,400 円の補助金が交付されるため、堆肥センターでは 120% のフル稼働となっている。利益が出ているのであれば、もっと利用者に還元できないか。(清公・1 班)

**回答** 施設は町の直営であるが、生ごみを堆肥に還元した土づくりをしているため、フル稼働しても運営費がかかり利益が出ていないので還元は難しい。

**質問 47** 簡易水道を上水道に転換する話し合いの中で、これまでの環境課の説明と企業課の説明内容が異なっている。特に既存設備の改修については認識のずれがある。業務移管の際にしっかりと申し送りを行ったのか。(立谷沢公・2 班)

**回答** 担当課に確認したい。

【町回答】 環境課から企業課へ移管となる際に引継を行っており、これまでの話し合いの経過を踏まえ、事業運営していく事としており内容的に変更はありません。ご指摘の件に関してですが、事業の基本は、水道水の「安全・安心・安定供給」

にあるという考え方から、その確保のための修繕や整備は、統合前でも当然対応すべき事項が想定されるという趣旨で説明させていただいたものであります。必要な施設修繕の実施にあたっては、使用料金にかかわってくる部分ですので、これまで通り連絡協議会等を通して理解を図りながら進めていきたいと考えています。

また、今後、維持管理方法など具体的に検討すべき事項もありますので、これまでと同様に話し合いの場を設定し、ご理解を頂きながら円滑な上水道との統合に向けて進めていきたいと考えていますのでご理解いただきたいと思います。

**質問 48** 立谷沢駐在所が廃止されると聞いているが、地域、住民にとって安全・安心の要である。存続は地域の願いとなっている。(立谷沢公・2班)

**回答** 県では、廃止の方向で考えているようである。地域の皆さんの気持ちは十分理解できる。議会としても地元の声を、県、町に伝えていく。

【町回答】 町でも存続を希望しています。3年後という事から地域の存続の声を県に伝えます。

**質問 49** 自治会長と行政区長の役割、仕事の内容は違うので、一般の方々は混同してしまう。兼務の方も多いが、別々にしてもらおう仕組みを作れないのか。(一公・3班)

**回答** 仕事の内容は違うが、ほとんどのケースで兼務している。実態としてはその方がやりやすいと感じている場合もあり、人口減の中では小集落等で分けるのは現実的ではなく、集落運営が難しくなることも考えられる。

**質問 50** 体育館・響ホールの指定管理者制度はどうか。(四公・3班)

**回答** 社会教育施設の指定管理者制度については、体育館・八幡スポーツ公園等、関係団体に打診しているようだ。

**質問 51** 今年度第四学区に学童保育所が小学校の施設を活用して開設された。一教室では事務スペースがなく狭い。もう少し広いスペースを検討してはどうか。(四公・3班)

**回答** 現場を見て確かに感じるところだが、担当課に伝えたい。

【町回答】 今年度スタートしたばかりの学童保育施設であり、余目第四小学校の空き教室を利用させていただいての実施になるので、今後の児童数や学童保育の利用者数の推移、空き教室や余裕教室の状況などを考慮し、教育委員会、余目第四小学校及び学童保育の実施機関である愛康会とも協議し検討してまいります。

## **意見**

- 意見 1 防災無線を通じ行方不明者の情報提供の放送がされたが、内容が分からなかった。伝達の工夫が必要ではないか。(三公・2班)
- 意見 2 保健医療費の削減のために、町は積極的にジェネリック医薬品使用を勧めてはどうか。(三公・2班)
- 意見 3 町の花「クロユリ」が想像の花になっていないか。月山山頂付近に生息している「クロユリ」を町のシンボルとして、月山、山頂の町であることをPRしてはどうか。(三公・2班)

## **要望**

- 要望 1 町の施設の改修工事等を要望しても、使用頻度や、利用者数が低いと予算化が遅れる場合がある。地域の実情を総合的に考慮して判断して欲しい。(立谷沢公・2班)
- 要望 2 高齢者のつどいが取りやめになった。経費分は全額各自治会で実施している高齢者事業に配分すべきである。(立谷沢公・2班)